

健康科学部 こども健康・教育学科

幼稚園教諭 1種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目		
科目等	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
領域及び保育内容の指導法に関する科目	健康	一以上の科目について修得すること	こどものからだの発達	2	※
	人間関係		こどもと人間関係	2	※
	環境		こどもと数の概念<数概念の形成>	2	
			こどもと自然<発達の環境としての自然>	2	※
	言葉		こどもとコミュニティ	2	
			こどもと言語<母語の習得>	2	※
			こどもと音楽Ⅴ<幼児の音楽表現>	2	※
	表現		こどもと造形Ⅱ<幼児の造形表現>	2	※
		保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	2	※
	保育指導法（健康）		2	※	
	保育指導法（人間関係）		2	※	
	保育指導法（環境）		2	※	
	保育指導法（ことば）		2	※	
保育指導法（表現）	2		※		
最低修得単位数		16	計	28	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	こどもと学校<教育の理念・歴史・思想>	2	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		こども論（含保育原理）	2	※
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		学校制度・経営論	2	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		こどもと安全（含学校安全・防災教育）	2	※
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		こどものこころの発達	2	※
			特別支援教育概論（含障がい児支援）	2	※
等指導、総合的な学習の時間等の指導、総合的な学習の時間等の指導	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法・技術論（含情報機器の活用）	2	※
	幼児理解の理論及び方法		こども理解<幼児及び児童理解の理論と方法>	②	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（含カウンセリング）	2	※
関連する実践に	教育実習	5	教育実習Ⅰ<初等教育実習事前・事後指導>	1	※
			教育実習Ⅱ	4	※
	教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小・中）	2	※
最低修得単位数		21	計	29	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）		14	こどもと人権	2	
			こどもの食育指導法	2	
			介護等実習（含事前・事後指導）	1	
最低修得単位数		14	計	5	

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
- ②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「体育・スポーツ（含理論）」（2単位）、「英語コミュニケーションⅠ」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
- ③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、上記3科目並びに「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の最低修得単位の超過分を含めて充足することとなります。

健康科学部 こども健康・教育学科

小学校教諭 1 種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目			
科目等	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	こどもと国語	2	※	
		社 会	こどもと文学	2		
		算 数	こどもと社会<地理・歴史・公民>	2	※	
		理 科	こどもと算数	2	※	
		生 活	こどもと理科<観察・実験>	2	※	
		音 楽	こどもと生活<身近な環境での生活>	2	※	
		図 画 工 作	遊びの研究<遊びを創る>	2		
		家 庭	こどもと音楽Ⅰ<音楽教育と楽器>	1	※	
		体 育	こどもと音楽Ⅱ<音楽教育と楽器>	1	※	
		外 国 語	こどもと造形Ⅰ<造形能力の発達>	2	※	
	各教科の指導法(情報機器及び)	国語(書写を含む。)	それぞれ一単位以上修得すること	こどもと造形Ⅲ<応用的表現>	2	
		社 会	それぞれ一単位以上修得すること	こどもと家庭<日常生活と衣食住>	2	※
		算 数	それぞれ一単位以上修得すること	こどもと体育	2	※
		理 科	それぞれ一単位以上修得すること	こどもと外国語	2	※
		生 活	それぞれ一単位以上修得すること	教科教育法(国語)	2	※
		音 楽	それぞれ一単位以上修得すること	教科教育法(社会)	2	※
		図 画 工 作	それぞれ一単位以上修得すること	教科教育法(算数)	2	※
		家 庭	それぞれ一単位以上修得すること	教科教育法(理科)	2	※
		体 育	それぞれ一単位以上修得すること	教科教育法(生活)	2	※
		外 国 語	それぞれ一単位以上修得すること	教科教育法(音楽)	2	※
最低修得単位数		30	計	46		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	こどもと学校<教育の理念・歴史・思想>	2	※	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論(含チーム学校運営への対応)	2	※	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		学校制度・経営論	2	※	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		こどもと安全(含学校安全・防災教育)	2	※	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		こどものこころの発達	2	※	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育概論(含障がい児支援)	2	※	
等指導法、総合的な学習の指導、進路指導及びキャリア教育の理論等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	教育課程論(含カリキュラム・マネジメント)	2	※	
	総合的な学習の時間の指導法		道徳の理論と指導法	2	※	
	特別活動の指導法		特別活動指導法(含総合的な学習の時間の指導法)	2	※	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法・技術論(含情報機器の活用)	2	※	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(含進路指導・キャリア教育)	2	※	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談の理論と方法(含カウンセリング)	2	※	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ<初等教育実習事前・事後指導>	1	※	
	教職実践演習		2	2	※	
	教育実践演習	2	教育実習Ⅱ	4	※	
最低修得単位数		27	計	31		
大学が独自に設定する科目(下記【注意事項】の③を参照)		2	こどもと人権	2		
			こどもの食育指導法	2		
			こどもの情報教育・ICT(情報機器)の活用法	2		
			介護等実習(含事前・事後指導)	1	※	
最低修得単位数		2	計	7		

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
- ②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」(2単位)、「体育・スポーツ(含理論)」(2単位)、「英語コミュニケーションⅠ」(2単位)及び「情報基礎演習」(2単位)を履修しなければなりません。
- ③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、「介護等実習(含事前・事後指導)」(1単位)の他に、上記選択科目並びに「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位の超過分を含めて充足することとなります。

健康科学部 こども健康・教育学科

中学校教諭 1種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目				
科目等	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考		
教科及びび教科の指導法に関する科目	教 科 体 育 実 技		体育実技Ⅰ指導法	1	※		
			体育実技Ⅱ指導法	1	※		
			体育実技Ⅲ指導法	1	※		
			体育実技Ⅳ指導法	1	※		
			体育実技Ⅴ指導法	1	※		
			体育実技Ⅵ指導法	1	※		
			野外運動	②			
			健康心理学	②			
			スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	◆	2	※	
			スポーツ心理学	◆	2	2単位以上選択必修	
	スポーツ施設・経営学	◆	2				
	スポーツ社会学	◆	2				
	スポーツ行政論	◆	2				
	運動学総論	◆	2				
	トレーニング科学	◆	2				
	スポーツバイオメカニクス	◆	2				
	専 門 的 事 項	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	それぞれ一単位以上修得すること	スポーツコーチング論	◆	2	※
				解剖生理学Ⅰ	◆	2	※
				解剖生理学Ⅱ	◆	2	
				運動生理学	◆	2	※
衛生・公衆衛生学					2	※	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）					2	※	
安全・救急法					2	※	
保健体育科教育法Ⅰ					4	※	
保健体育科教育法Ⅱ					4	※	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				8			
最低修得単位数		28	計		48		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	こどもと学校<教育の理念・歴史・思想>	2	※		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校制度・経営論	2	※		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		こどもと安全（含学校安全・防災教育）	2	※		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		こどものこころの発達	2	※		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別支援教育概論（含障がい児支援）	2	※		
			教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※		
道徳、総合的な学習の時間、教育相談の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳の理論と指導法	2	※		
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※		
	特別活動の指導法		教育方法・技術論（含情報機器の活用）	2	※		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※		
	生徒指導の理論及び方法		教育相談の理論と方法（含カウンセリング）	2	※		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
教育実習に関する実践科目	教育実習	5	教育実習Ⅲ<中等教育実習事前・事後指導>	1	※		
			教育実習Ⅳ	4	※		
	教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小・中）	2	※		
最低修得単位数		27	計		31		
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の④を参照）		4	こどもと人権	2			
			こどもの食育指導法	2			
			こどもの情報教育・ICT（情報機器）の活用法	2			
			介護等実習（含事前・事後指導）	1	※		
最低修得単位数		4	計		7		

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
- ②◆印は、健康スポーツ科学科の開設授業科目を示します。
- ③教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「体育・スポーツ（含理論）」（2単位）、「英語コミュニケーションⅠ」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
- ④「大学が独自に設定する科目」の単位数は、「介護等実習（含事前・事後指導）」（1単位）の他に、上記選択科目並びに「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位の超過分を含めて充足することとなります。